

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：林業費 目：林業振興費

事業名 新 森林空間活用促進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

林政部恵みの森づくり推進課木育推進係 電話番号:058-272-1111(内 3031)

E-mail: c11513@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 5,550 千円 (前年度予算額: 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	5,550	0	0	0	0	0	5,550	0	0
決定額	3,700	0	0	0	0	0	3,700	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

自然を活かした野外活動等への注目が集まっているが、山村地域ではニーズに対応できる施設や体験メニューが不十分など、収益を生む構造にない。

森林空間を多様な分野で活用することで、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業の育成に取り組む必要がある。

(2) 事業内容

① 県普及促進費 3,783 千円

森林空間の活用を促進するため、先進事例調査やセミナーの開催等を行う。

② 協議会設立準備費 967 千円

森林空間活用の推進母体となる「(仮称)森林サービス産業推進協議会」の設置・運営に向け、設立準備委員会、事業化支援基金研究会を開催する。

③ 「(仮称)森林サービス産業推進協議会」負担金 800 千円

(3) 県負担・補助率の考え方

第4期森林づくり基本計画に基づく事業であり、県が実施することは妥当。「(仮称)森林サービス産業推進協議会」は県負担金と会員会費により運営。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	859	セミナー講師謝礼、委員会・研究会委員謝礼
旅費	1,381	講師、委員の費用弁償:410、業務旅費:971
需用費	387	消耗品費:175、燃料費:61、会議費:21、チラシ印刷製本費:130
役務費	121	保険料:31、通信運搬費:90
委託料	1,254	セミナー業務委託
使用料	668	会場等借上、自動車借上料等
負担金	880	協議会費県負担金等
合計	5,550	

決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4期岐阜県森林づくり基本計画

森林の新たな価値の創造と山村地域の振興

森林空間等を活用した森林サービス産業の育成による山村振興

(2) 国・他県の状況

国：森林サービス産業（健康経営分野）モデル事業を実施

（R2年度：16地域支援（県内1地域含む）、R3年度：7地域支援）

(3) 後年度の財政負担

第3期清流の国ぎふ森林・環境税の課税期間である令和8年度まで、税収に応じ事業を実施。令和5年度以降の県事業費及び負担金所要額は10,000千円。

(4) 事業主体及びその妥当性

森林空間の活用促進により山村振興を目指すものであり、県が実施すべきものである。

また、森林空間の活用促進には、企業・団体等の様々な知見を活用し、各種施策を展開するための推進母体となる協議会が必要であり、県が協議会の設置・運営を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 森林空間の活用を促進するため、企業や団体等に向け、セミナーの開催や人材育成、プログラム開発を行う。
 また、企業・団体等の様々な知見を活用し、森林サービス産業の振興を図るため、推進母体となる「(仮称)森林サービス産業推進協議会」を令和4年度に設置し、多様な主体との連携により森林空間の活用を促進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R3)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
						%
① (仮称)森林サービス産業推進協議会 会員数(者)累計	0	/	/	40	60	%
② 森林サービス産業 起業者数(者)累計	0	/	/	0	20	%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	・取組内容と成果を記載してください。
令和3年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%
令和4年度	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価)	
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価)	

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響等で、自然を生かした活動等に注目が集まるも、山村地域では第一次産業を中心に産業の停滞や若者の流出が続いており、都市部のニーズに対応できる施設や体験メニュー等を持たず、収益を生む構造が構築されていない。森林空間等の活用により、山村地域に新たな雇用と収入機会を生み出す森林サービス産業の振興が必要。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>森林空間の活用に向けた推進体制を整備するため、専門家によるセミナーの開催や人材育成、プログラム開発、SNS等による情報発信等を行い、森林空間の活用に向けた取組みを促進する。</p> <p>また、「(仮称)森林サービス産業推進協議会」では、多様な主体との連携を深めるため会員相互の交流会や、事業化に向けた異業種交流会を行う。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	<p>【〇〇課】</p>

